



KWANSEI GAKUIN
UNIVERSITY

Integrated Center for UN and Foreign Affairs Studies

1-155 Uegahara Ichiban-Cho, Nishinomiya, Hyogo 662-8501 JAPAN

Homepage <http://gap.kwansei.ac.jp/unfa/>

Email unfa@kwansei.ac.jp

宣誓書

関西学院大学は人権、労働基準、環境、腐敗防止に関するグローバル・コンパクト(GC)の 10 の原則を支持することを確認いたします。

私どもは、本学の影響力の及ぶ範囲内でできる限り、GC の 10 原則を促進していく所存でございます。また、GC およびその 10 原則を弊団体の戦略、文化および日々の業務の一部にしていくことと、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ(SDGs)達成のための取り組み等にも関わることを約束します。また、このような私どもの GC に対するコミットメントをステークホルダーおよび公に対して明言いたします。

なお、会員として得られた他社・団体に関する情報を第三者に漏洩しないことをお約束します。

2018年1月17日

関西学院大学

学長

村田 治

村田 治

関西学院大学における国連グローバル・コンパクトに関する取組について

1. 国連グローバル・コンパクトの10原則に関する取組

(1) 人権問題研修会の開催（原則1、原則2）

本学では、1948年に国連で採択された世界人権宣言の精神に基づき、1995年4月に人権教育研究室を設置し、人権教育・研究活動の整備を行ってきました。「人権」の立場からあらゆる差別の問題の解消を目指して、研究誌『関西学院大学 人権研究』や『KG人権ブックレット』の発行、定例研究会の開催および人権教育科目の開講や、毎年春学期と秋学期（12月の人権週間中心）に開催される人権問題講演会や人権問題についての啓発プログラムの企画を行っています。

2016年1月～2017年12月の間に開催した人権問題講演会は以下のとおりです。本講演会の開催により、参加した本学教職員および学生の人権意識を高めると共に、共生・多様性への理解を涵養しました。

【人権問題講演会】

■ 2016年度 春季開催

1. 日 時：2016年5月19日（木）11時10分～12時40分
場 所：神戸三田キャンパス II号館102号教室
講 師：原 ミナ汰 氏（NPO法人共生社会をつくるセクシュアルマイノリティ支援全国ネットワーク代表理事）
題 目：LGBTが生きやすい世の中にするため、大学は何ができるのか～誰もが、カミングアウトを受けとめる「キャッチャー」に
2. 日 時：2016年5月19日（木）15時10分～16時40分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館レセプションホール
講 師：原 ミナ汰 氏（NPO法人共生社会をつくるセクシュアルマイノリティ支援全国ネットワーク代表理事）
題 目：LGBTが生きやすい世の中にするため、大学は何ができるのか～誰もが、カミングアウトを受けとめる「キャッチャー」に
3. 日 時：2016年6月23日（木）15時10分～16時40分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館レセプションホール
講 師：石元 清英 氏（関西大学社会学部教授）
題 目：ハラスメント関連規程の整備と大学の課題～快適なキャンパス環境をつくるために～

■ 2016年度 秋季開催

1. 日 時：2016年11月21日（月）15時10分～16時40分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス B号館203号教室
講 師：今城 大輔 氏（UNHCR難民映画祭プロジェクトマネージャー）
題 目：映画を通じて難民を知る
映画上映：『今はまだ、帰れない君へ』（2016年「難民映画祭」上映作品）
2. 日 時：2016年11月22日（火）9時00分～10時30分
場 所：神戸三田キャンパス II号館201号教室
講 師：今城 大輔 氏（UNHCR難民映画祭プロジェクトマネージャー）
題 目：映画を通じて難民を知る
映画上映：『今はまだ、帰れない君へ』（2016年「難民映画祭」上映作品）

■ 2017 年度 春季開催

1. 日 時：2017年5月18日（木） 11時10分～12時40分
場 所：神戸三田キャンパス II号館102号教室
講 師：川西 寿美子 氏（NPOアカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク）
題 目：多様な性を考える～一人ひとりのセクシュアリティ～
2. 日 時：2017年5月18日（木） 15時10分～16時40分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 図書館ホール
講 師：川西 寿美子 氏（NPOアカデミック・ハラスメントをなくすネットワーク）
題 目：多様な性を考える～一人ひとりのセクシュアリティ～

■ 2017 年度 秋季開催

1. 日 時：2017年11月16日（木） 11時10分～12時40分
場 所：神戸三田キャンパス II号館201号教室
講 師：中村 恵 氏（国連UNHCR協会 団体・学校統括）
題 目：国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）とは？私たちに出来ること
2. 日 時：2017年11月16日（木） 15時10分～16時40分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館レセプションホール
講 師：中村 恵 氏（国連UNHCR協会 団体・学校統括）
題 目：国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）とは？私たちに出来ること
3. 日 時：2017年12月4日（月） 15時10分～16時40分
場 所：西宮上ヶ原キャンパス B号館203号教室
講 師：友永 健三 氏（部落解放・人権研究所名誉理事）
題 目：関学の人権教育に期待すること～部落問題の講義を40年間担当して～

(2) 男女共同参画推進事業の実施（原則6）

本学は、社会の男女共同参画の実現に率先して主体的役割を果たしていくことを目的として、2012年に男女共同参画宣言、および関西大学・同志社大学・立命館大学との4大学共同宣言を採択しました。この宣言に基づき、2013年度4月に学院に男女共同参画推進本部を設置し、全体の男女共同参画を推進しています。

2014年度には神戸大学、兵庫県立大学とともに文部科学省科学技術人材育成費補助事業「**女性研究者研究活動支援事業（連携型）**」の採択を受け、女性研究者支援のための環境整備に取り組んでいる本学も共同実施機関となりました。本事業は、3大学が互いに連携することにより、女性研究者の上位職への登用の推進、産学研究的の促進、女子学生および女性研究者のキャリアパスの拡大を目的として3カ年で実施しました。

この事業により、2016年度は別紙のとおり様々なプログラムを実施しました。なお、設定目標の一つである、申請時における准教授以下女性教員の「上位職階への昇任比率 20%以上」について、本学は 41.0%と大きく目標を上回りました。また、出産・育児に伴い研究時間が確保しにくい女性専任教員（任期制教員・博士研究員を含む）が継続的に研究を行うことができるよう、当該教員に代わって研究を行う支援者を雇用することができる「**ピンチヒッター制度**」を設け、2016年度には全学でのべ 10 名、のべ 961 時間利用されました。今後は利用者を女性だけではなく育児中の男性や介護者にも拡大できるよう、制度の整備・充実の検討を進めてく予定です。

2. 国連グローバル・コンパクトとその原則の推進活動

(1) 国連グローバル・コンパクト支援関西学院大学センターの活動および授業との連携

本学は2014年度に文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業に採択された「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」の一環として、「国連・国際機関へのゲートウェイ」構想を掲げ、2015年10月24日に「国連グローバル・コンパクト支援関西学院大学センター」を設置しました。本センターは、国連グローバル・コンパクト及び国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンのメンバーとして、ネットワークとの連携を強化し、その活動の展開を主に西日本において支援することを目的としています。

この一環として、2017年度に新設した副専攻大学院「国連・外交コース」の開講授業の中で、グローバル・コンパクトの人権・労働・環境・腐敗防止の各トピックについて学ぶ機会を提供しました。

また、2016年度および2017年度には明石康元国連事務次長を塾長とした全国の高校生対象プログラム「関西学院世界市民明石塾」を開講し、この中で国連環境計画（UNEP）バンコク事務所職員との遠隔中継セッションも実施しました。参加高校生たちは世界で起こっている環境問題について理解を深め、諸課題に対する国連や各国の活動について学び、解決に向けて今後自分たちが取り組むべきアプローチ方法についても議論を交わしました。



(2) 「日中韓ラウンドテーブル」への学生派遣

本学は上記センターの活動の一環として、国連グローバル・コンパクト主催の「日中韓ラウンドテーブル」に本学学生を派遣しました。（2016年度北京開催2名、2017年度東京開催1名）

この派遣により、本学学生が国連グローバル・コンパクトへの理解を深めると共に、各国の学生との意見交換を通して、CSRについて共に考え発信できるように涵養しています。今後も本プログラムへの派遣を通して、持続可能な社会作りに貢献できる学生を育てます。

以上

連携型事業の一環として2016年度はこのようなプログラムを実施しました

▶ 英語スキルアップセミナー

日 時：2016年9月30日(金) 13:30～15:00
場 所：神戸三田キャンパス VII号館112教室
参加者数：19名

プログラム

「査読対策」ワークショップ

西川 マリ 講師
カクタス・コミュニケーションズ株式会社(英文校正エディター)

過去2年にわたり「論文を書く」というテーマで開催してきましたが、最終年はそこから一歩踏み込み、査読者からのコメントの意図を汲み取って、どのように論文を改訂していくのかというポイントを学ぶ構成で実施しました。

参加者の声(参加者アンケートより抜粋)

- 少し難しかったですが、ポイントを教えていただけて良かったです。
- 査読のプロセス、図表作成時の注意点、カバーレターの書き方などを詳細に学ぶことができた。
- 非常に参考になったが、日本語訳があればもっと理解を深められたのではないかと思います。

▶ キャリアパスポートセミナー

日 時：2016年11月28日(月) 13:00～14:30
場 所：神戸三田キャンパス アカデミックコモンズ1階シアタールーム
参加者数：26名

プログラム

講演1『開発部の仕事 ～入社から10年、現在育児も奮闘中～』

塩田 侑里子 氏
株式会社堀場製作所 開発本部 液体計測開発部
2007年度関西学院大学大学院理工学研究科化学専攻博士課程前期課程修了

講演2『日油株式会社のご紹介～バイオから宇宙までこなす 総合化学メーカー研究員の仕事～』

山仲 藍子 氏
日油株式会社 油化学研究所 H・B 研究 G
2004年度関西学院大学大学院理工学研究科化学専攻博士課程前期課程修了

講演者を囲んだ懇談会

企業や研究所など、研究を中心とする業務紹介を通じたキャリアパス拡大を目的とする本セミナーを開催しました。研究職として働く女性の実体験に基づく講演内容に、参加した多くの学生は関心深く耳を傾けていました。

▶ 外部資金獲得セミナー ―科学技術政策の国際的動向から考える―

日 時：2016年12月2日(金) 15:00～16:50
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館光の間
参加者数：25名

プログラム

講演『学術研究をめぐる国際的動向とJSPSの国際展開』

安藤 博 氏
日本学術振興会(JSPS) 国際事業部国際企画課課長

講演者を囲んだ懇談会

JSPSと繋がりのある研究推進社会連携機構の協力のもと、日本の科学技術政策全体の動向や国際化の現状を掴むことにより見識を広げ、広義で外部資金の獲得につなげる目的で本セミナーを開催しました。閉会の挨拶では、研究推進社会連携機構長でもある長峯男女共同参画推進副本部長により、連携事業における本学での取組や研究推進社会連携機構の役割が紹介されました。

参加者の声(参加者アンケートより抜粋)

- 日本の研究における国際的な地位が下がっていることがよく分かりました。もっと国の支援を望みたいです。
- とても良い刺激になるセミナーでした。もっと多くの人に聞いてもらうべき内容だったと思います。
- 今回のセミナー内容自体は興味を掻き立てるものでよかったのですが、これにプラスしてもう少し実際の役に立つ内容であった方がよいと思いました。

▶ キャリアカフェ ―ロールモデル懇談会 Vol.25―

日 時：2016年12月2日(金) 15:00～16:30
場 所：神戸三田キャンパス VII号館3階物化共同実験室
参加者数：6名

プログラム

細川 千絵 氏
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門主任研究員

理工学部男女共同参画推進委員会との共催で、少人数制・女子学生限定で今回25回目を数えるロールモデル懇談会を開催しました。

参加者の声(参加者アンケートより抜粋)

- 少人数で話合えたのがよかった。自分の今後の人生、研究内容を考える上で非常に勉強になった。
- 博士後期課程に進学を迷っている段階で、実際に進学されて研究者として活躍されている方の意見を聞けて本当に良かったです。具体的なビジョンも見えて、非常に参考になりました。
- ロールモデルとなる人に実際に会って聞きたいことを聞けるのは大変良い機会になりました。
- ドクター進学のこと、研究に対するモチベーション、育児をしながら仕事をしていくことについて聞けて大変参考になりました。

女性研究者研究活動支援者(ピンチヒッター)制度も引き続き実施しています

出産・育児に伴い研究時間が確保しにくい女性専任教員(任期制教員・博士研究員を含む)が継続的に研究を行うことができるように、当該教員に代わって研究を行う支援者を雇用することができる制度です。2016年度は全学でのべ10名、961時間利用されました。今後は利用者を女性だけでなく育児中の男性や介護者にも拡大できるよう、制度の整備・充実の検討を進めていきたいと考えています。

- 利用者の要件：次の要件すべてを満たす方
 - 専任教員、任期制教員、博士研究員の資格の方
 - 女性で、出産・育児のために十分な研究時間の確保ができない方
 - 原則、小学校卒業時までの子どもを養育する方
- 支援者の要件：次の要件すべてを満たす方
 - 利用者と同一または関連する分野を専攻する方
 - 支援活動をするにより、支援者の研究者としての能力向上が見込める方
 - 支援者の給与支給基準に定められている資格に該当している方

詳細については、学内パブリックフォルダの「お知らせ」にてご案内しています。

件名：「(男女共同参画推進本部・人事課) 2017年度 関西学院大学 女性研究者研究活動支援制度の利用について」

本件について、ご質問等ございましたら男女共同参画推進本部事務局(人事部人事課)までご連絡ください。

▶ ティーチングスキルアップ冊子

教育経験の少ない女性研究者のために過去2回ティーチングスキルアップセミナーを開催してきましたが、参加したくても時間・場所の都合が合わず参加できない人が多いという課題がありました。そこで、いつでもどこでも、より多くの先生方の体験を共有するとともにティーチング技術やアドバイスを周知できるよう、New Horizons「Teaching Skill Up」を発行しました。本連携型事業のHPに掲載(<http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/renkei/important/2017331.html>)していますので参照ください。部数に限りはありますが、冊子をご希望の方は男女共同参画推進本部事務局(人事部人事課)までご連絡ください。

内容構成

- 第1章 寄稿「私のTSU」(3名)
- 第2章 インタビュー「教えること、学ぶこと、生きること～6人の素敵な先生との対話～」(6名)
- 第3章 ティーチングスキルアップアンケート(91名)
- 第4章 教員仲間に伝えたいこと、勧めたいこと
- 付 録 技術ノート「あなたの声量は十分ですか？」

